

第1回「PMの先輩（メンター）を囲む会-3/28」  
～参加者アンケート～

1012.04.06  
メンター事務局

1. 本日の質問内容をご記入ください。

①私は、この度の震災の被災地に何度かボランティアで現地入りし、瓦礫撤去などをお手伝いしています。ただいつまでも瓦礫撤去の仕事だけを手伝ってもいられません。どうすれば自分が継続的に現地の方々に協力できるか？を考えておりました。そこで、現地のボランティアリーダーの方に以下のようなご提案をいたしました。

-----  
今回の被災の状況や当日の事などの語り部を、千葉や静岡に派遣し、  
現地の防災のための計画作成のサポートや啓蒙活動する仕事

-----  
彼らの経済的なサポートと、同時にビジネスのチャンスを与えたいと考えた提案でした。

（リーダーとなる若い人の失業率が高い）

ただ、大きな課題があります。

どうやって、顧客を見つけるかです。やみくもに色々な団体にコンタクトするのも一手ですが、何かマーケティングの知恵があればアドバイスをいただきたい。

②上記と関連しますが、一般にBCPの普及率を上げるにはどうすれば良いでしょうか？  
私は、現在 会社でBCPの策定にかかわっています。大きな会社は社内で作成チーム等が進めていますが、一般の商店や地域や特に中小企業のBCP策定がすすんでいません。

特に中小企業では、BCP作成は直接的に利益に結びつかない為、遅れています。

利益に直結するBCPは無いものでしょうか？

例えば業務改革の基礎情報をBCPを利用して作成するとか、人員配置の適正化をすすめるツールとする等が考えられますが、仕入先の集約または分散の基礎資料とするとか・・・。  
大地震が近いなどと言われているのが、本当なら 小さな商店とかすぐに商売が継続できなくなるような、小さな団体こそ、本物のBCPの策定が喫緊の課題かと思われます。  
何かよい知恵はないでしょうか？

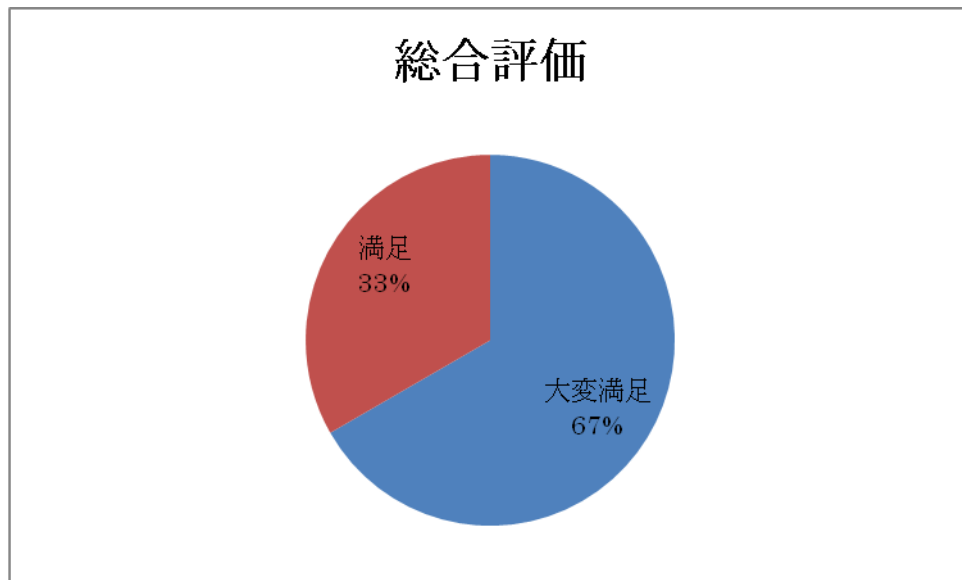
③PMA Jの将来に向けた方向性を聞かせてください。

例えば、企業への啓蒙活動、資格取得を推奨資格者の社会的インセンティブの確立等。  
以上三つの質問です。

- ④40代 50代 60代とどう成長すればいいか。自身の経験上、どう成長してきたか？
- ⑤コンサルタントとしてのキャリアのつくり方
- ⑥定年後の技術の活用について。  
⇒期待していた内容と異なりましたが、他の意見を聞くことができ有益であったと考えています。

2. 今回の囲む会の総合評価をお尋ねします。

1 大変不満足	2 不満足	3 普通	4 満足	5 大変満足
------------	----------	---------	---------	-----------



3. その理由をお聞かせ下さい。

- ①メンターの方々が普段お知りあいになれないような方々であったこと。
- ②出席前に欲しいと考えていた情報が期待以上に入手できた事。
- ③ファシリテーターが会の進め方にバッファをもって管理していた事。
- ④ここでしかきけない話を聴くことができたから。
- ⑤従来のセミナー型と違い、双方向で意見交換ができたと思っています。

4. 最も印象に残ったことは何ですか？

- ①川勝氏の産官学に所属された経験からくる現実的な回答をいただいたこと。
- ②金子氏からのボランティア活動についての心がまえや、行動に関わるノウハウ

- ③向後氏（実はわたくしとして今回一番印象に残った方です）からの発言で、  
「全く経験のない事、且つ大きな変化に対してもPMの知識を基本として乗り越えて来た」とのコメントは、ご自身の経験から揺るぎの無い確信を持ったアドバイスで、やはりそうか！と手を打って喜びたい程、聞きたかった先輩からの発言でした。
- ④40代からの成長基準についての話。
- ⑤官公庁へ提案を通すコツについての話。
- ⑥「PMの育成は考えたことがなく、人選のみである」とした方が、「運用関連における人材育成に関心を示した」こと。
- ⑦全般的に地道に考えて悩んでいる人に対する回答が弱く、一般論に対する議論が活発な印象を得た。

#### 5. 今後の継続に向けて改善すべき点がありますか？

- ①日時の設定以外に、特にありません。引き続き、今回のメンターの3名での第二回目を希望いたします。ただし、メンター各位への負担は相当なものがあると思われるのでお疲れにならない程度の時間とテーマにされた方がよいかもしれません。ご本人達が意に介さない程度だと思われていれば、次回を期待しています。
- ②メンター（先輩）/メンティ（後輩）という枠組みについてこれは「上から目線」を是認するものであり、参加者が20代ならともかく、40代以上の参加者の場合、成立しにくいように思います。フラットな構造がよいと思います。
- ③業種によるカテゴリー分けについて  
PMT についての問題意識や悩みを共有し話し合う場を設けるとしても、PMer という職種が同じというだけでは共通点が少ないと思います。プラントとかITという共通の括りが必要だと思います。
- ④目指す最終形について  
どういう効果を狙うのか、開催頻度、人数、告知方法、場所等々、プランをより詳細に考える必要はあると思います。
- ⑤（既にお話しましたが）時間帯の「繰り下げ」を検討しては？
- ⑥経験豊富な受託者側のメンターを入れられないでしょうか。（メンターに再考の余地）
- ⑦出席者の多くが、PMA J関係者に見えました。純粋な一般参加者を増やし、一般参加者間でも話ができる環境があると、更に面白いのでは。

⑧一般参加者の対象を「なんでも」ではなく、「複数のテーマを絞る」と議論が発散し難いのでは。（参加者にイメージも伝わりやすいのでは？）

⑨昨日は、楽しい時間を準備して頂き、ありがとうございました。アンケートは、既に紙で提出していますが、再度お送りいたします。是非、継続した活動にして下さい。

⑩昨日は、企画・運営などなど本当にお疲れ様でした。私個人としては収穫があり、よかったです。

⑪この度の 第1回「先輩PMを囲む会」の開催をありがとうございました。普段はお知り合いになることさえできないような方々との同席機会を得ましたこと、更に、貴重な情報までいただけたことに感謝をいたしております。

⑫自社内や自分の業界だけに引きこもっていても、得られない知識や経験をさせていただける事が大変有益になっております。

初めての企画との事でしたが、珍しい企画で、PMに関係無い友人をさそって参加しようとしたほどでした。日時設定が決算期末であり、かつ夕方6：00が厳しかったです。

ありがとうございました！